

第18回 自然系調査研究機関連絡会議 調査研究・活動事例発表会プログラム(案)

日時：2015年11月5日(木) 13:00～17:05

場所：千葉県立中央博物館 講堂 (千葉県千葉市中央区青葉町 955-2)

13:00～ 開場・受付

発表の順番・時間は未定です

13:30～13:40 開会挨拶

環境省自然環境局生物多様性センター長 中山隆治
千葉県立中央博物館長 川戸功一

口頭発表 第一部 13:40～14:55

座長：由良 浩(中央博物館生態学・環境研究科長)

13:40～13:55 O-1 アオサ類による極端な優占減少は干潟に生態系機能を本当に低下させているのか?

国立環境研究所 生物・生態系環境研究センター
矢部 徹, 玉置雅紀, 有田康一, 中村方哉
東京都環境公社東京都環境科学研究所 石井裕一

13:55～14:10 O-2 全国鳥類繁殖分布調査の開始について

環境省生物多様性センター調査科 大木庸子
NPO法人 バードリサーチ 植田睦之

14:10～14:25 O-3 信州の自然の恵みを伝統文化から知る

長野県環境保全研究所 浦山佳恵, 畑中健一郎

14:25～14:40 O-4 千葉県立中央博物館生態園における教育事業の展開

千葉県立中央博物館 林 浩二

14:40～14:55 O-5 千葉県における生物多様性の主流化への取組

千葉県生物多様性センター 熊谷宏尚

(休憩)

ポスター発表 15:00～16:00(コアタイム)

P-1 ニホンジカによる森林生態系影響の広域評価

埼玉県環境科学国際センター 角田浩志

- P-2 静岡県における外来種ヤンバルトサカヤステの分布の推移
静岡県環境衛生科学研究所 神谷貴文
- P-3 外来種ヒメリンゴマイマイの茨城県神栖市からの記録
ミュージアムパーク茨城県自然博物館 池澤広美
茨城県病害虫防疫所 渡邊 健, 岡部 克
千葉県立中央博物館 黒住耐二
- P-4 山口湾榎野川河口干潟に生息するレッドリスト掲載種について
山口県環境保健センター 惠本 佑
- P-5 愛媛県特定希少野生動植物ナゴヤダルマガエル減少要因の検討
愛媛県立衛生環境研究所生物多様性センター 山内啓治
- P-6 名古屋市内ため池の生物多様性評価の試み
名古屋市環境科学調査センター 岡村佑里子
- P-7 東京都環境科学研究所における自然環境分野の取り組み
東京都環境公社東京都環境科学研究所 石井裕一, 横山 仁
- P-8 草地性鳥類のより高精度なハビタット評価のための経年解析
千葉県立中央博物館共同研究員/立正大(地球環境)/(株)プレック研究所 今井 優
千葉県立中央博物館 桑原和之
千葉市野鳥の会 箕輪義隆
立正大(地球環境) 米林 伸
- P-9 イリオモテヤマネコの交通事故
環境省西表野生生物保護センター 田口麻子
- P-10 自然環境保全調査「植生図」の整備状況
環境省生物多様性センター調査科
- P-11 生物多様性システムのリニューアルと Web GIS での情報提供について
環境省生物多様性センター情報システム科
- P-12 モニタリングサイト 1000 第 2 期とりまとめについて
環境省生物多様性センター生態系監視科及び保全科
- P-13 東日本大震災 3 年後の景観の変化状況について
環境省生物多様性センター震災委員会, アジア航測株式会社

口頭発表 第二部 16:00～17:00

座長：阿部慎太郎（環境省生物多様性センター専門調査官）

（発表の順番・時間は未定です）

- 16:00～16:15 O-6 埋土種子から発芽再生させた水生植物 34 種の系統維持
千葉県立中央博物館 林 紀男
- 16:15～16:30 O-7 千葉県におけるシャープゲンゴロウモドキの個体群回復状況について
千葉県生物多様性センター 小野知樹
- 16:30～16:45 O-8 福岡県における外来種の定着状況調査 - 侵略的外来種リスト(仮称)作成
に向けて -
福岡県保健環境研究所 金子洋平, 中島 淳, 石間妙子, 須田隆一
- 16:45～17:00 O-9 名古屋市におけるミシシippアカミミガメの現状と防除対策
名古屋市環境局なごや生物多様性センター 野呂達哉
- 17:00～17:05 閉会挨拶 千葉県環境生活部自然保護課長 伊藤亮一
- 17:05 閉会